

許されぬ恋の始まりでした。

原作 藤沢周平

花のあと

北川景子 甲本雅裕 宮尾俊太郎
相築あきこ 佐藤めぐみ 市川亀治郎
藤村志保(語り) 伊藤 歩 柄本 明 國村 隼

原作：藤沢周平「花のあと」(文春文庫刊) 脚本：長谷川康夫 飯田健三郎

音楽：武部聡志 主題歌：「花のあと」一青窈 FUME 監督：中西健二

製作：川城和実 尾越浩文 亀山慶二 進藤義明 企画：小滝祥平 池澤道彦 エグゼクティブプロデューサー：河野竜 上田めぐみ 大芝賢二 町田智子
プロデューサー：森谷誠吾 芳川遼 松舟俊之 小久保聡 撮影：瀧久村健章 照明：長田達也 録音：武 進 美術：金田茂美 装飾：中山まこと 編集：奥原好幸
製作：バンダイビジュアル ホニーキャニオン テレビ朝日 山形テレビ 日産堂 アカツキメディア ケイ 朝日新聞社 アステイシー
特別協力：遠藤展子 進藤義明 企画協力：文藝春秋 協力：福岡市 福岡ロケ支援実行委員会 配給：東映 助成：文化芸術振興補助金 ©「花のあと」製作委員会

www.hananoato.com

『山桜』に続く「海坂藩大全」からの 映画化第二弾!! 藤沢周平の珠玉の名作 『花のあと』完全映画化!

藩の要職を務める寺井家の一人娘として生まれ、幼い頃から父に剣の手ほどきを受けてきた以登。

下級武士の三男だが、藩内随一の剣士と噂される江口孫四郎。

初めて出逢った満開の桜の下で、二人は試合を約束する。

数日後、竹刀を合わせた瞬間、以登の胸は熱く震えた。女の剣と侮ることも、その家柄に阿ることもなく、まっすぐに自分の剣と向き合ってくれた孫四郎。

それは以登にとって生涯ただ一度の、しかし決して叶うことのない恋だった。

以登にはすでに決められた相手があり、孫四郎もまた、上士の家の婿となる日が迫っていた。

自らの運命を静かに受け入れ、想いを断ち切る以登。

だが一年後、遠く江戸から届いた、孫四郎自害の報……。

激しい動揺を抑え、以登は婚約者・片桐才助の力を借りて、その真相を探る。

孫四郎の死の陰に、藩の重鎮・藤井勘解由の陰謀が潜んでいることを突き止める二人。

そして、以登はあの日以来遠ざけていた剣を手し、静かに立ち上がる――。



さまざまな世代の名優が織り成す、生きる道しるべを失った日本人の還るべき原風景

主人公・以登には『ハンサム★スーツ』『真夏のオリオン』など話題の映画に次々と出演し、今最も輝いている女優・北川景子。その以登の許婚・才助には、舞台、TVドラマ、映画で、幅の広い役柄で活躍している甲本雅裕。以登が淡い恋心を抱く孫四郎には、熊川哲也率いる「Kバレエカンパニー」に所属するバレエ界の新星・宮尾俊太郎。また、歌舞伎界だけでなく舞台、TV、映画と活躍の場を広げている若手花形役者・市川亀治郎が、藩の重鎮・藤井勘解由を演じる他、名優・國村隼、柄本明が脇を固め、スクリーンに風格をもたらしています。脚本は『山桜』(07)で藤沢周平の世界を忠実に再現した長谷川康夫と飯田健三郎。監督は阿部寛主演の『青い鳥』(08)で待望の劇映画監督デビューを果たした、新鋭・中西健二が挑

んでいます。主題歌は『蝉しぐれ』『山桜』に続き一青窈が担当。すべての日本人の心に染み透るその歌声は北国の厳しい風雪に耐えて咲く満開の桜のように、やがて本当のしあわせにたどりつく以登の心情を見事に歌い上げています。『たそがれ清兵衛』(02)『隠し剣 鬼の爪』(04)『蝉しぐれ』(05)『武士の一分』(06)『山桜』(08)……。自らの運命を静かに受け容れ、背筋を伸ばし、何事にも揺れ動くことなく、あくまでも確固たる一人の人間として在り続けようとする、凛としたたたずまい。そんな藤沢周平が教えてくれる“日本人の心の原点”といえる作品がまたひとつ誕生しました。



2010年3月13日(土) 全国公開